

- 氏名 : 岩下 哲  
○会員番号 : PE-0159  
○専門分野 : Mechanical



## 1. PE 登録体験記

### (1) 登録手続の経緯

2008 年01 月中旬 :

(JPEC⇒吉川) JPEC よりPE 試験の合格通知を受領。

2008 年03 月08 日 :

JSPE PE/FE 合格祝賀会に出席し, PE 州登録の情報を聴取。

2008 年03 月11 日 :

社内の先輩PE からOSBEELS(オレゴン州)への登録要領の情報を入手。

2008 年03 月13 日 :

OSBEELS 登録要領の詳細について社内先輩PE に確認。

2008 年03 月16 日 :

出身大学へ卒業証明書及び成績証明書の英文版と和文版を申請。

ECE(Educational Credential Evaluators, Inc.)は和文版も参照できるとの情報をいただいたので和文版も入手することにした。

2008 年03 月末 :

出身大学から卒業証明書及び成績証明書を受領。

2008 年03 月29 日 :

(吉川⇒NCEES) OSBEELS のVerification Details のフォームに必要事項を記入し, 国際スピード郵便(EMS)にてNCEES へ送付。

2008 年04 月11 日 :

(吉川⇒ECE) ABET 適合証明書発行の申請書類一式(オンラインで作成した申請書, 和文卒業証明書, 英文卒業証明書, 和文成績証明書, 英文成績証明書, US\$195 のMoney Order〔Course-by-Course, Additional Report Copies, International Courier Service〕)をEMS にてECE へ送付。

2008 年04 月16 日 :

(ECE⇒吉川) 送付した Money Order が米国の銀行に関連するものではないので取扱えない, クレジットカードの情報をFAX してくれ, と電子メールで連絡あり。

2008 年04 月18 日 :

少し前まではECE の手数料は日本郵便局の Money Order で問題なかったことを, 社内先輩PE に確認。しかし, ECE のオンライン申請の注意書きに米国の銀行に関連する Money Order でなければならない旨の記述を発見。

2008 年04 月18 日 :

- (吉川⇒ECE) クレジットカードの情報をFAX で送付。
- 2008 年04 月19 日：  
(吉川⇒ECE) クレジットカードの情報を4/18 にFAX したと、手続を進めてもらいたい旨を電子メールにてECE へ送付。
- 2008 年04 月21 日：  
(ECE⇒吉川) 4/16 の電子メールと同じ内容のエアメールが届く。
- 2008 年04 月24 日：  
(NCEES⇒吉川) Verification Details がエアメールで届く。
- 2008 年04 月25 日：  
(ECE⇒吉川) 必要書類を受け取った、現在レビューしている、通常は4 週間以内に適合証明書を発行している、と電子メールでECE から返信あり。
- 2008 年04 月25 日：  
社内先輩PE からOSBEELS 登録費用に関する最新情報を入手。
- 2008 年05 月05 日：  
OSBEELS のExperience Record フォームに必要事項を記入したものを社内先輩PEへ送付し、Reference を書いていただけそうな方を紹介していただきたい旨を依頼。
- 2008 年05 月07 日：  
私の所属事業所内にはPE ホルダーがおられないが、私の所属部署と関連する部署や私が参加している社内技術連絡会のメンバーに、PE ホルダーがおられることが分かり、Reference をお願いできそうだと、社内先輩PE から連絡あり。Reference をお願いするにあたり、面談を申し入れた。
- 2008 年06 月06 日：  
社内先輩PE を含む社内PE ホルダー3 名の方と面談し、Reference を書くことを引き受けていただいた。
- 2008 年06 月12 日：  
(吉川⇒ECE) ECE から連絡が何も無いので、電子メールで進捗状況を照会。
- 2008 年06 月15 日：  
直属の上司2 名に残り2 通のReference をお願いした。
- 2008 年06 月16 日：  
(吉川⇒ECE) ECE へ再度、進捗状況を照会。
- 2008 年06 月16 日：  
(ECE⇒吉川) 適合証明書の作成が完了し、6/11 に発送した、とECE から電子メールで返信あり。フェドラルエクスプレスのトラッキングNo.が記載されていたので、フェドラルエクスプレスのWeb サイトで状況を確認。
- 2008 年06 月17 日：  
(ECE⇒吉川) ABET 適合証明書がフェドラルエクスプレス⇒日通航空にて届く。
- 2008 年06 月23 日：  
Reference 5 通(内3 通はPE ホルダーによる)が揃った。

2008 年06 月25 日 :

(吉川⇒OSBEELS) 登録申請書類一式をEMS にてOSBEELS へ送付。

2008 年07 月末 :

(OSBEELS⇒吉川) OSBEELS からエアメールが届く。提出した申請書類は要求事項を満足しているので9/9 のボードミーティングで取り上げる, これを受け取ってから10 日以内に州法の宿題テストを完成させて返送せよ, と記載されていた。

2008 年08 月11 日 :

(吉川⇒OSBEELS) 完成した州法テストをEMS にてOSBEELS へ返送。

2008 年09 月27 日 :

(OSBEELS⇒吉川) PE 登録通知書がOSBEELS から届く。名刺サイズの登録証が同封されていた。

2008 年10 月16 日 :

(OSBEELS⇒吉川) B4 サイズのPE 登録証書がOSBEELS から届く。

## (2) Reference の取得方法(依頼・回収手順)

私が所属している事業所内にはPE ホルダーがおられなかった(サスペンディッドの方はおられた)ので, 他事業所の先輩PE に相談した。OSBEELS のExperience Record フォームに入社以来の業務経歴・内容を記入し, 先輩PE へ送付してReference を書いていただけそうな方を探していただいた。その結果, Reference をお願いできそうな方が先輩PE 含めて3 名おられると, 先輩PE から連絡を受けた。先輩PE の所属事業所は私の所属事業所から約1 時間で行けるところにあるので, PE ホルダーの方々にReference をお願いするにあたり, 面談を申し入れた。面談の際には, Experience Record と社内人事システムに記録されている私の業務経歴を印刷して持参した。PE ホルダーの方々にお会いしてみると, 私の所属部署との関連部署の方や私が参加している社内技術連絡会のメンバーであった。面談の結果, Reference を書くことに快諾いただいた。

当時, 私は出張続きだったので, 面談の時以外はメールでのやり取りでReference をお願いした。また, それだけでなく, 私のExperience Record の内容もレビューしていただいた。以上により, PE ホルダー3 名分のReference が確保できたので, 残りの2 通は直属の上司(PE ホルダーではない)にReference をお願いした。直属の上司は, PE のReference を書くことは初めてだったので, 先輩PE にサンプルをいただき, 私が書ける部分を予め記入し, 評価内容だけ記入して頂ける様に準備した。封筒のシールとサインの要領についても説明した。

出来上がったReference は社内便で送付いただいたり, 私が不在のときは机の引き出しに入れていたたりして, 受け取った。

## (3) ABET 適合証明書(申請及び送金方法)

これについても先輩PE から情報をいただいた。先輩PE は私と同じ時期にPE 試験に合格した, 先輩PE が所属する事業所のPEN の為にOSBEELS(オレゴン州)登録手続きに関する情報を集めておられた。ABET 適合証明書はECE(Educational Credential Evaluators, Inc.)よりCourse-by-Course のEvaluation Report を入手する必要がある。この申請には, 大学の卒業証明書と成績証明書, 大学院

を修了している場合は大学院の修了証明書と成績証明書を取寄せる必要がある。ECE は和文オリジナルも参照出来る様だとのことで、英文版と和文版の両方を出身大学へ申請した。私の出身大学の場合、英文版作成には2 週間程度要すると出身大学のWeb サイト上に記載されており、それを見込んで早めに申請した。ECE への申請には、ECE のWeb サイトで手続を行う。Report Type にCourse-by-Course を選択、急ぐ場合にはRush Service を選択する。OSBEELS へは申請書類を一式まとめて送付するので、ECE からOSBEELS へ直送を頼まず、自分の住所への送付分だけで良い。費用はEvaluation Report (Course-by-Course) : US\$135, International Courier Service : US\$50 が少なくとも必要。送金は、先輩PE のときには郵便局で発行してもらえるMoney Order で可能であったが、私が手続をするときには、ECE のWeb サイト上の注意書きに『If the money order or check is issued by a bank outside of the U.S., it must contain the printed name of the U.S. bank with which the bank is affiliated.』という文言が追加されており、郵便局のMoney Order では送金できなかった。私はこれに気付かずにMoney Orderを申請書類と一緒に送付したところ、ECE から上記と同じ内容のレター付でMoney Order が返送されてきた。

その後で、クレジットカードの情報をFAX で連絡して、Evaluation Report の手続を行ってもらうことができた。クレジットカードの情報をFAX してから、ECE へ手続状況を電子メールで確認したところ、約4 週間を要する旨の回答があった。実際には5 週間程度かかった。尚、申請書類の送付には国際スピード郵便(EMS)を使うと良い。郵便局備え付けのA4 サイズの厚紙のパックを利用することができ、配達状況などをWeb 上で確認することができる。

#### (4) Verification Details 申請方法

これについても先輩PE から情報に基づいて手続を行った。OSBEELS のVerification Details 4 枚組のフォームの1 枚目に名前、住所、電話番号、PE 受験時に記載したSocial Security No.(基礎年金番号の最初の数字を省いた9 桁)を記入し、FE 試験合格証とPE 試験合格証のコピーを同封してNCEES(National Council of Examiners for Engineering and Surveying)へ申請した。費用は無料。申請してから届くまでに約1 ヶ月を要した。

#### (5) OSBEELS(オレゴン州)への申請書送付及び送金の方法

これについても先輩PE から情報に基づいて手続を行った。次の申請書類を一まとめにして送付した。

- Registration Documents (Professional Engineers Registration Based Upon Examination by Another Jurisdiction, OSBEELS のフォームを使用)
- 出身大学の卒業/修了証明と成績証明書の英文版
- ABET 適合証明書(ECE から入手したもの)
- Experience Details (OSBEELS のフォームに必要事項を記入)
- References 5 通 (内3 通はPE ホルダーによるもの、OSBEELS のフォームを使用)
- Verification of Examination Results (OSBEELS のフォームを使用してNCEES から入手したもの)
- FE Exam Results Notice and Certificate のコピー (念の為に同封)
- PE Exam Results notice and Certificate のコピー (念の為に同封)

PE 登録の為に上記の書類を同封する旨を記載したカバーリングレターに、名前、住所、電子メールアドレス

レス、電話番号を記載し、サインして同封した。

送金については、ECE へMoney Order を使って失敗したので、Registration Documents でクレジットカード引落を指定した。費用はUS\$375。クレジットカード会社の利用明細で引落状況を確認することができるので、手続に入ったか否かが分かる。

## (6) 州法のテスト

OSBEELS へ申請書類を送付してから約1 ヶ月後に、提出した書類が必要条件を満足している旨と州法のテストを10 日以内に返送せよと記載したレターと州法のコピーの入った封書がエアメールでOSBEELS から届いた。州法のコピーはOSBEELS のWeb サイトのLaws & Rules からダウンロードできる『Oregon Revised Statutes672』と『Oregon Administrative Rules 820』であった。

テストの表紙にインストラクションがあり、機密保持のためにテストのコピーを取ってはならない旨の記載があった。70 点以上が合格点。インストラクションには、合格するまで登録手続は延期される旨の記述があったと記憶している。つまり、このテストは州法を理解することが目的であって、落とすことが目的ではない、ということだと思われる。テストの解答作成は、休日に集中して行い、レターを受取ってから10 日以内に返送した。テスト解答の送付には期限が決められていたので、EMS を使用した。

## 2. 苦労した点

PE 登録に関する手続の期間中、私は長期出張だった(月に2~3 度、会社へ戻ったり、自宅へ帰ったりしていた)為、書類の準備、ECE、NCEES、OSBEELS への書類の送付には苦労した。唯一の救いは、出張先の近くにEMS を扱っている郵便局があり、昼休みを利用して書類送付の手続を行うことができたこと。ECE などへの手続状況確認連絡やReference を書いて下さる方々への連絡は電子メールが主体であった。

## 3. アドバイス

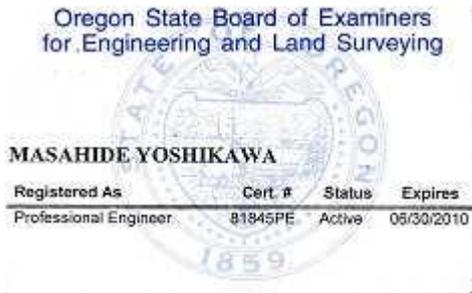
(1) 先輩PE、JSPE やJPEC の情報をできるだけ活用して、登録手続を行うと良いと思う。私の場合は、全て先輩PE からいただいた情報に基づいている。但し、手続上の規則、注意点は時々変更がなされているので、当該機関のWeb サイトなどで確認することは必要。場合によっては、電子メールなどで照会するのも良い。

(2) PE 試験に合格してからPE 登録までの期間は2 年以内となっているので、PE 受験前にReference を書いて頂ける方を見つけておいた方が良い。

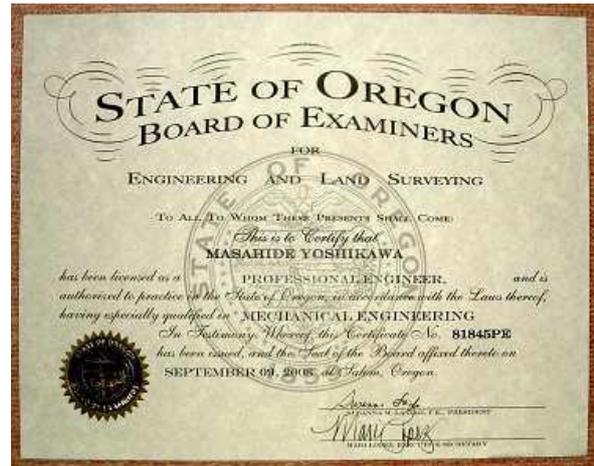
(3) PE 試験に合格してからPE 登録までには、試験とは違った苦労を色々とすると思うが、決して途中であきらめず、根気よく、前向きに手続を進めていただけたら、必ず結果が出ると思う。

## 4. 謝辞

PE 登録に関する情報をいただいた先輩PE、JSPE の皆様と、Reference を書くことに快諾いただいた方々に、御礼を申し上げます。



名刺サイズの登録証



B4 サイズの登録証